



第2回中央港湾団交にて大幅賃上げを訴え!!

3月8日(火)13:30より第2回中央港湾団交が開催された。冒頭、日港協より「前回以降、各地区の意見を聞き日港協として回答をまとめてきた」として、各要求項目への回答をおこなった。(詳細は後日報告とする)

回答を受け、組合側での検討をおこなったが、今回の回答はそのほとんどが個別縦割り労使協議や関係する各種委員会で協議促進との回答であり、中央港湾団交が形骸化というか、回答自体が後退してしまっていると提起し、一旦休憩を求めた。

「産別の回答にあらず」

再開後、全国港湾の賃金共闘各委員から、日本港運協会に対し、従来の春闘とは違った大幅な賃上げを各単組が勝ち取るために船社・荷主に対する賃上げ原資を確保するような指導性を強く求めた。

また、石炭火力の業界の姿勢や安全問題・指定事業体など各種委員会・部会の交渉が実態として全く進んでいないことを提起した。

「行動の自由留保を示唆する」

全国港湾・柏木委員長から、「行動の自由を留保する旨を宣言する用意があることを示唆する」とし、次回交渉までに各種委員会・部会で協議促進を図ることを含め、具体的回答を強く求めた。

全国港湾単独課題について

また全国港湾独自要求である横須賀フェリー問題と秋田港産別協定順守問題についても引き続き次回継続交渉とした。

次回第3回中央港湾団交は3月25日(金)10時より
*場所は未定

なお、団交終了後、全港湾として「要求課題に関する地区代表者の団交参加の必要性について提起した」

以 上